

第2回全国研究部長会（報告）

平成17年11月21日、22日の全国研究部長会より 骨子報告

研究部長 近藤亮

会長挨拶

- 義務教育費国庫負担制度堅持の署名635万回収できた。お礼申し上げる。
 - 緊急アピール 別紙参照
 - 全国大会 第7期の1年目として成果はあった。始まったばかりであるが、第8期について考える時期となった。
方向性としては
 - 17年度：研究活動検討委員会で具体化する。
 - 18年度：第1回研究部長会協議、及び役員会をへて、9月理事会で提案。
 - 19年度：「研究の手引き」に掲載
 - 20年度：実施
 - 来年度山形大会引き継ぎ完了。宮崎大会の反省をうけて取り組みを進めていく。
- P S 18年度から 神奈川県 総括教員制度を設ける。東京都の主幹制度に代わるもの試行的に、中学校2校、小学校2校を予定
仕事は、学校運営の補佐。
学校長が推薦し、委員会へ報告。給与体制も変わるそうである。

研究部長より

- 宮崎大会のお礼 及び 反省
 - ・代表参加が不十分であったように思う。参加数にでこぼこがあり、前日まで、分科会の運営等について（グループわけ）大変であった。
グループ協議のあり方
大変良かったという分科会もあった。
今後運営について検討する余地有り。
協議の視点を絞ることによりかなり大変であった。部会によっては、協議と言うよりも、情報交換で終わったところもあった。
 - ・開かれた大会の部分では、60名近いPの参加があった。ほとんどが、各学校のPTA役員である。基本的には、オブザーバーとして参加をお願いした。（意見は言わない方向で対応）
 - ・提言内容の質の向上を図って頂きたい。
（グループ討議では、ディスカッションへの発展を考えるべきである。）
 - ・助言者から 非常に熱心であった。参加できて嬉しかった。

来年度 山形大会にむけて

- ・日時 平成18年8月2日～4日
- ・要請数を確保してほしい。
第1分科会（A・B）～第6分科会 & 特別分科会（1・2） 各2名
= 18名
- ・第1次案内 年内 発送予定